

# 2022年度事業計画書

## I 概況

### 1. 利用者数 70,000人

2021年度は新型コロナウイルスや東京オリンピック開催の影響で、観戦の制限、変則的なスケジュールなどがありましたが、アマチュア、プロとも大会やリーグ戦がほぼ予定通り開催され、野球ファンにとっては野球を堪能できた1年となりました。

特にオリンピックでの侍ジャパンの金メダル獲得は、野球ファンだけでなく多くの国民に感動を届けてくれました。

当館においても、中日・大野雄大選手、巨人・坂本勇人選手、ヤクルト・村上宗隆選手から金メダルを借用した展示を行ったことにより、多くの方が来館されました。

その他の当館の活動ですが、ホームページリニューアルによりイベント開催が容易となり、NPB野球規則委員の井野修氏、ニュースキャスターの大越健介氏などのトークイベントを始め、夏休みの「野球で自由研究！」での講習、NPB記録データ管理部の山川誠二氏の記録の付け方教室など多くのオンラインイベントを開催することができ、地方の方にもお楽しみいただけたと思います。

しかしながら、利用者数は、緊急事態宣言が発出され4月後半から5月末まで休館になったことや依然新型コロナウイルス感染状況の改善が不透明なことなどにより、残念ながら予算上の60,000人を下回る約40,000人となる見込みです。

さて、野球伝来150年となる2022年度は、日本野球界が一丸となって行う記念イベントに協力します。また、企画展「野球伝来150年記念展」を始め、展示に連動したトークイベントや、小学生の自由研究をサポートする「野球で自由研究！」のさらなる充実を図るなど、野球振興活動を推進し、利用者数70,000人を目指します。また、上期には設立以来の利用者数600万人を達成する予定です。

### 2. 野球殿堂

2022年の野球殿堂入りが決定した高津臣吾氏、山本昌氏の表彰式は、7月26日（火）に福岡 PayPay ドームで開催されるプロ野球オールスターゲームの試合開始前に行う予定です。また松前重義氏の表彰式については、6月に明治神宮野球場で開催される全日本大学野球選手権大会の決勝、または上記のプロ野球オールスターゲームで行う予定で調整をしております。

恒例の顕彰者ゆかりの品々を展示する「野球殿堂入り特別展」は、表彰式終了後に野球殿堂ホールにて開催する予定です。

### 3. 維持会員数の拡大と制度の充実

維持会員加入を促進するため、各種特典の充実など会員制度の見直しを検討します。また引き続き、積極的な案内活動を行います。

### 4. その他

野球殿堂ホールに新たな映像システムを導入、野球の歴史のコーナーで上映されている「プロ野球の歩み」のリニューアルなど映像展示を充実させ、来館者の満足度を高める施策を実施いたします。

## Ⅱ 館内活動

### 【図書室】

<ベースボール・インフォメーション・センター化に向けて>

#### 〔収集〕

以下の資料を積極的に収集する。

- (1) プロや高校、大学、社会人、軟式、女子野球等の資料
- (2) 外国語の資料
- (3) 野球文化に関する資料

#### 〔組織化〕

資料状況を確認しながら、以下のことを中心に行う。

- (1) 図書管理システムへの資料登録を計画的に行う（洋書のデータ入力）
- (2) 資料の製本
- (3) 図書分類の見直し
- (4) 雑誌分類の検討
- (5) 財産目録上にある資料の処遇について検討

#### 〔保存〕

資料を長期にわたり、保存できる形にする。

- (1) 劣化が激しい資料を、継続して利用者に提供するためにメディア変換を推進する。

#### 〔利用者サービスの向上〕

利用者がより使いやすい図書室にするため以下の施策を行う。

- (1) O P A C の充実
- (2) レファレンス対応
- (3) W i - F i 環境の提供
- (4) 利用者調査（アンケートの実施など）
- (5) 国立国会図書館から図書館送信の検討（デジタル化資料送信サービス）
- (6) データベース導入の検討

#### 〔調査研究〕

- (1) 野球文化に関する資料の調査研究

- (2) 野球殿堂に関わる資料調査及び資料作成
- (3) 明治、大正期の野球に関する資料の調査研究
- (4) オーラルヒストリーの公開

[情報発信]

図書室の資料や利用状況等を積極的に発信する。

- (1) SNSの活用
- (2) 図書館総合展への参加

<教育普及活動>

- (1) 野球で自由研究！お悩み相談コーナーの設置
- (2) 「第7回 野球で自由研究！コンテスト」の開催

<他機関との連携>

- (1) 日本図書館協会や日本体育図書館協議会、専門図書館協議会などの大会や総会、研究会への参加（情報交換）
- (2) 秩父宮記念スポーツ図書館をはじめとするスポーツ系図書館との連携強化
- (3) 国立国会図書館との連携強化

<その他>

- (1) 野球関連資料の分散保存

## 【学芸員室】

<重点目標>

- (1) 野球伝来150年という大きな節目の年に際し、2021年度より3部構成で開催している記念展に加え、NPB、BFJと連携し、「野球伝来150年記念企画・野球の聖地150選」を開催し、併せて関連展示を実施する。
- (2) 野球殿堂入り顕彰者の映像紹介端末（タッチ式ディスプレイ）の導入と、常設展示のプロ野球コーナーでの「プロ野球のあゆみ」歴史紹介映像の更新を行い、映像展示の充実を図る。

<収集>

- (1) 資料収集方針に沿って資料を収集し、コレクションの充実を図る。
- (2) 2023WBC関連資料の収集を行う。
- (3) 常設展示のプロ野球史紹介映像の更新版を7年ぶりに制作する。

<整理・保管・保存>

- (1) 分類別収蔵を徹底し、収蔵環境向上に努める。また、将来的な資料管理システム導入に向け、収蔵資料の棚卸を実施する。

<展示・イベント>

[企画展・特別展]

- (1) 野球伝来150年記念展第2期 3月18日(金)～6月8日(水)
- (2) 野球伝来150年記念展第3期 6月下旬～9月下旬
- (3) 野球で自由研究! 7月～8月予定
- (4) 野球殿堂入り特別展 7月～10月予定 ※殿堂ホールで開催
- (5) 野球伝来150年記念 野球の聖地150選 10月上旬～11月下旬
- (6) 企画展「野球報道写真展2022」 12月上旬～2023年2月
- (7) 企画展「WBC展」 2023年3月～

[常設展・特集展示]

- (1) 野球殿堂入り顕彰者 映像紹介端末(タッチ式ディスプレイ)の導入
- (2) 12球団特集展示  
4月 北海道日本ハムファイターズ、5月 オリックス・バファローズ、  
6月 福岡ソフトバンクホークス、9月 中日ドラゴンズ  
※イベントホールにて開催  
※2021年に西武、阪神、DeNA、2022年3月に巨人の4球団を実施。  
残りの4球団は2023年実施予定。
- (3) 全日本大学野球選手権大会 6月予定 ※アマチュア野球コーナー
- (4) 高校野球特集展示 選抜3～5月、選手権8月予定  
※アマチュア野球コーナー
- (5) 都市対抗野球 7月予定 ※アマチュア野球コーナー
- (6) 新収資料特集 10～11月 ※イベントホール
- (7) 引退選手特集 12月～2023年2月
- (8) 野球で自由研究! コンテスト作品展2022～2023年春予定  
※殿堂ホールで開催
- (9) プロ野球コーナーの「プロ野球のあゆみ」歴史紹介映像の更新

[イベント]

- (1) 通算来館者600万人記念イベント
- (2) 野球殿堂入りの方々によるトークイベント
- (3) 野球で自由研究! 関係イベント

審判員、記録員イベント、バット製作実演、グラブ製作教室等

#### < 調査・研究 >

- (1) 企画展・特別展開催に際し、それぞれのテーマについて情報を収集する。
- (2) 19世紀の日本野球の調査研究を続ける。

#### < 広報活動 >

- (1) 企画展やイベント情報を、積極的にテレビ、ラジオ、新聞、情報誌等にリリースし、マスコミへの広報に努める。また、チラシやポスターを製作し、東京ドーム構内や首都圏の本拠地球場、近隣施設等で配布、掲示し、周知に努める。
- (2) ホームページやSNS、P R T I M E Sで企画展やイベント情報を紹介する。
- (3) 当館を紹介する記事、番組の取材や撮影に、積極的に協力してP Rに努める。
- (4) N P B、アマチュア野球関係団体に働き掛け、当館を利用したイベント、記者会見等を積極的に誘致し、館内の有効利用に努める。
- (5) ニュースレターを2回発行し、配布する。

#### < 学校教育との連携 >

- (1) 学校教育向け体験学習プログラムの対応を行う。2022年度受入れは原則として平日の火、水、木、金の13:00～14:00の1日1組とし、①「野球の歴史について」、②「野球殿堂博物館について」、③「野球にまつわる仕事について」の3種のテーマを選択していただき、担当者からプレゼンテーションを行う予定。
- (2) 学芸員課程の履修学生を実習生として受入れる。

#### 【建物設備の維持管理】

- (1) 空調設備の室外機、室内機の保守点検を、年4回専門業者に委託して、維持管理につとめる。
- (2) 映像設備のランプ交換を年1回行う。
- (3) 消防設備の保守点検を年2回専門業者に委託して行う。
- (4) 自動扉の点検を、年3回専門業者に委託して行う。
- (5) エレベーターの保守点検を、年4回専門業者に委託して行う。
- (6) 受付ポスレジシステムの点検を、年2回専門業者に委託して行う。
- (7) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日常の清掃、衛生対策を強化する。また、お客様の手に触れやすい箇所に関しては、営業中定期的に消毒し、除菌作業を強化する。
- (8) 老朽化した防犯カメラシステムを最新式にリニューアルする。

## 【収益事業】

- (1) 新商品の開発及び商品アイテムの拡充に努める。また、オンラインショップにおいてキャンペーンを実施し、収入増に繋げる。
- (2) 2022年野球殿堂入りの高津臣吾氏、山本昌氏のメモラビリアをNPBオンラインショップで販売する。
- (3) 企画展や特別展と連動して、関連商品を限定販売する。
- (4) 野球本販売コーナーを設置する。

## Ⅲ 館外活動

- (1) 館外貸出  
野球界関連の団体、公共団体、類縁機関等の展示会やイベントに際し、資料貸出だけではなく、企画内容に関する相談にも対応するなど積極的に協力し、野球の底辺拡大に努めるとともに、野球殿堂博物館の認知度を高める。
- (2) 船橋市との相互協力協定（2017年4月～）
- (3) 全国博物館大会への参加

## Ⅳ 野球殿堂関連の事業

- (1) 2022年に野球殿堂入りした高津臣吾氏、山本昌氏、松前重義氏のレリーフ制作を、彫刻家・松田光司氏に依頼するとともに、三氏の表彰式を開催する。
- (2) 野球殿堂入り特別展を、7月から10月にかけて殿堂ホールで開催する。
- (3) 2023年の野球殿堂入り有資格者の調査を行い、基礎資料を作成する。その資料をもとに、競技者表彰委員会の幹事による東日本幹事会を東京で、また、西日本幹事会を大阪で開催し、候補者を決定し、発表する。
- (4) 競技者表彰委員会委員の異動調査を、各社の代表を通じて行う。その後、各社の代表経由で、委員に投票用紙を配布、記名投票にて、投票用紙の回収を行う。その後、競技者表彰委員会東日本幹事会の幹事により、開票作業を行う。
- (5) 特別表彰委員会への推薦書が提出された方の調査を行い、資料を作成する。特別表彰委員会候補者選考委員会を開催し、2023年の候補者を決定し、発表する。その後委員に対し、事前に投票用資料を送付し、特別表彰委員会を開催する。
- (6) 競技者・特別両委員会で選出された方への2023年野球殿堂入り通知式を、野球殿堂ホールにて行う。
- (7) 野球殿堂関係資料の整理を行う。